

「再検証対象医療機関の公表について」

先日、厚生労働省「地域医療構想に関するワーキンググループ（厚労省ワーキング）」において、「再編統合の必要性について特に議論が必要な公立・公的な医療機関等」が公表され、当院も対象医療機関の一つとして発表されました。

当院は、従来より「京都府難病医療拠点病院」として、神経筋・免疫疾患など難病医療に重点をおきつつ、地域に根ざした急性期医療を行ってきており、こうした医療の提供には変わりはありません。

上記の厚労省ワーキングでは、「がん、心疾患、脳卒中、救急医療、小児医療、周産期医療、災害医療、僻地医療、あるいは研修・派遣機能などの9分野」の診療実績を検討されたものですので、当院の中心機能である難病等に関する医療とは異なる領域での検討であります。

しかしながら、地域の一般急性期医療の提供が重要であること、また、難病等に関する医療の提供には現有の急性期病床の維持も不可欠です。こうした点を地域医療構想調整会議等で説明・ご理解いただくよう、尽力して参ります。

引き続き、当院は、地域の内外から求められる一般急性期医療と難病等に対する医療の両者の提供を続けて参りますので、安心して、ご利用いただきますようお願い申し上げます。

宇多野病院 院長

(参考)

[厚生労働省「地域医療構想に関するワーキンググループ」](#)

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-isei_368422.html